４月のささやまっこだより

令和５年４月１日
篠山保育園
園長　足立善一郎

進級、入園おめでとう

園庭の桜が、新しく仲間になったお友だちや進級したお友だちをお祝いするかのように花開き、みんなの素敵な笑顔を待っていました。子どもたちは入園、進級と親のもとを離れいよいよ新しい生活が始まります。これまで親の胸の中で“安心とやすらぎとよりどころ”を得て不安も緊張もない毎日を過ごしてきたことでしょう。でもある日突然、見知らぬ友だちと保育士のいる集団の中に入ってくるのです。すべてが“初めてづくし”で不安を抱えるにちがいありません。私たち保育士はそんな子どもたちをしっかり受け止め、保護者の皆さんが安心して職場へ向かえる日が、一日でも早く来る事を願いながら保育をしていきます。どうぞ保護者の皆さんも笑顔で「いってくるよ」と声をかけ仕事に向かわれてください。進級したみんなも、緊張と張り切りパワーで体調をくずす場合がありますので、体調の変化にはお気をつけください。

５年度職員紹介

園長　足立善一郎　主任　足立純子　副主任　橋本裕美

ばら組（5才児）	國分久仁子
ふじ組（4才児）	野田真璃子
もも組（3才児）	姫野友加・森光花鈴
さくら組（2才児）	森　千恵子・石橋恵莉・髙橋由希・重冨伽帆
たんぽぽ組（1才児）	近藤まりこ・寺崎ももこ・緒方朋佳
すみれ組（0才児）	田中遥奈・吉冨美雪・吉田みつの
看護師	吉田みつの　【井寺桃子(産休中)】
給食調理員	古賀朱莉・中山亜利沙
非常勤保育士	中野真由美・緒方朋佳・本村直子・前田遥 松本優子・山内里嘉・宮原奈都美・密城華蓮 本間　曜・山下　愛・古賀博美
非常勤調理員	池田由美・二宮舞香・髙倉麻衣
休日保育士	川口久美子・古賀悦子・松木雅子 阿志賀千恵・豊田彩夏
嘱託医（内科）	本間小児科医院　本間真一先生
嘱託医（歯科）	かばしま歯科医院　樺島和子先生

４月の行事予定表

１日(土)　新年度保育始まり
８日(土)　園内研究会【職員会】
20日(木)　避難訓練
　　第１回内科健診(14:30～)
25日(火)　誕生会
10 日、24 日…えいごであそぼう(ばら組)
17 日…えいごであそぼう(ふじ組)

園内研究会は、月に１回土曜日に予定しています。その日は、午後４時までのお迎えにご協力ください。どうしても都合がつかれない場合はお申し出下さい。

朝の連絡について

登園が 9:30 を過ぎる場合や欠席する場合は 9:20 までに「れんらくアプリ」にて送信をお願いします。
※　9:21 以降は送信できなくなりますので電話連絡をお願いします。
(9:30 時点で給食人数を決定します)

☆毎月、月初めに園だよりと担任が作るクラスだよりを、月末には給食献立表を発行します。月の行事や子どもたちの姿、クラスの取り組みなど保育の様子をお伝えします。ご家庭でお読みください。
クラスだより第１号は５月に出ます。
また、行事の変更やお知らせがある場合には、お手紙を配布するとともに各クラス掲示板(コルクボード)等に貼り出しますので、毎日ご確認ください。

個人情報保護法に伴い、園だより、ホームページ等にお子様の写真を掲載して欲しくない方は、事前に園の方へお知らせください。掲載する場合、写真と名前を同時に載せることはありません。

ささやま保育園では

まずあそびを通して心と体が自由に動く子どもたちを育てていきます。そこから生活のマナーやけじめを伝えていき、“自分で考えて行動できる子ども、思いやりのある子ども”に育ってくれればと願い保育をしていきます。子どもたちも幼いながらに、いろんなことを感じ考えています。目先のことにとらわれずに、じっくり時間をかけて育てていきます。

生活リズムを身につけよう

入園、進級などで新しい環境に入る春は、生活リズムを見直すチャンスです。よい生活リズムを身につけることが、健康に過ごせる基本。ぜひ実践してみてください。

① **早寝早起きを意識して…**　眠りは日中の疲れをいやし、成長ホルモンを分泌させて脳や体の発育を促します。子どもたちは夜遅くても 9 時までには寝て、朝 7 時までに　起きるようにに促してみましょう。(各家庭の事情があると思いますので、上記のことを意識して少しずつ取り組んでみてはどうでしょう！)

② **朝ごはんを食べよう…**　朝ご飯を食べないと、ぼーっとして、活力が湧いてきません。元気の源となる朝ご飯を必ず食べましょう。

③ **うんちは済んだかな…**　朝ごはんを食べると、腸が刺激されて動き出し、排便を促します。ごはんの後は“うんちタイム”を取り、トイレに座りましょう。

相手してもらうの大好き

お母さんやお父さんと目が合うとニッコリ笑顔の赤ちゃん。そんな瞬間が積み重なって「かわいい」という気持ちも生まれてくるのでしょう。赤ちゃんもお母さんやお父さんに相手をしてもらうのは大好きです。ほっぺをチョンチョン、お鼻をツンツン。「いない、いない、ばー」や昔ながらの手遊びもいいですね。赤ちゃんに遊んでもらう、赤ちゃんといっしょに楽しむ。気負わずにそんな気持ちで接してみましょう。言葉がけも難しくかんがえなくていいのです。「おむつをかえようね」「お散歩に行こうか」と自分のしていることをそのまま口にしてみましょう。赤ちゃん向けの特別な言葉がけなんて、ありません。ふだんの暮らしの中で自然におしゃべりしていれば、それで十分です。